

2007年4月29日

能力強化の上でフェアプレイを  
— 第8回開倫杯ドッジボール大会開催にあたって —

開倫ユネスコ協会  
会長 林 明夫

みなさん、おはようございます。

栃木県佐野市へようこそおこし下さいました。第8回開倫杯ドッジボール大会の主権者を代表して心から歓迎いたします。

このドッジボール大会は、ドッジボールを通じての青少年の健全育成とドッジボールの普及のために開催しているものであります。

今回の大会は、関東地方各地から54チーム、約1500名の選手・保護者の皆様に参加して頂き開催されます。

ドッジボールをはじめとするスポーツの素晴らしさとは何か。2つあります。

第1は、「練習は不可能を可能にする」ということをスポーツを通じて身を以て学べることであります。よく創意工夫を凝らした「練習、練習、また練習」で一人ひとりの能力がどんどん強化(英語で **empower** エンパワー)され、試合にまで出場できる、うまくすれば優勝することができるレベルにまでなるということが、スポーツを通じて学べます。

人間の一生にとって最も大切なことは、自分自身の努力で実力を身に付けること、「能力強化(**empowerment** エンパワーメント)」であります。

ドッジボールの練習を通じて、「能力強化(**empowerment** エンパワーメント)」の大切さを学んで頂きたいと希望します。

第2は、「フェア・プレイ(Fair Play)」の精神であります。いくら「能力強化(**empowerment** エンパワーメント)」を果たしたといっても、どのようなプレイをしてもよいわけではありません。試合相手に対する礼儀や尊敬の精神、ルールの中でプレイすることの大切さは決して忘れてはなりません。「自分の身は自分で律する」、つまり「自律心」が大切です。

「練習、練習、また練習」を重ねた上で「能力強化」を果たし、その能力は「フェア・プレイ」の精神、つまり相手を思いやり、尊敬し、礼儀をわきまえ、ルールの範囲内で発揮するという「自律心」を、スポーツを通じて学んで頂きたいと希望します。

本日の大会は、栃木県ドッジボール協会、佐野市教育委員会はじめ、多くの皆様のご協力で開催されるものであります。心から感謝申し上げます。

では皆さん、今日一日、「能力強化(**empowerment** エンパワーメント)」と「フェア・プレイ(Fair Play)」の精神で元気にお過ごし下さい。

この大会を通じて一人でも多くの友だちを作ることができますよう、開催地である佐野市や栃木県の素晴らしさを一つでも多く発見できますようお祈り申し上げます。